

2015年6月7日(日) 神奈川新聞掲載
 大学受験セミナー



「悩むことは大切」
 高校生に呼びかけ
 国学院学長、横浜で講演
 国学院大学の赤井益久学
 長の講演会が6日、横浜市
 港南区の中萬学院本社で開

かれた。高校生や保護者ら約150人に、「悩みや迷うことは大切。その中で社会や時代の中での自分の位置を知り、社会が求める人材になつてほしい」と呼びかけたII写真。CG高等館東進衛星予備校と神奈川新聞社の主催。
 「歩いたところに道はできると、高校生の進路設計のために」と題した講演で、赤井学長は、高村光太郎の詩「道程」の一節から話を始めた。
 今の日本の状況を①人口

減少化社会②大都市と地方の二極化③グローバル化④日本型モデルの問い直し⑤不透明な社会」と分析し、「主体的に考え、問題を発見し解決する能力が求められている」と説明。大学受験では、「いろいろ悩むだろうが、足を運んでよく調べ、自分に合った大学を選ぶことが大切」と強調した。

(高村 誠)